

歴史回 マン プラン

赤穂義士&源平合戦ゆかりの地をドライブ

赤穂義士の魂が
眠る古刹へ

スタート
中国道
滝野社IC



1 観音寺 ●かんのんじ

加東市には赤穂藩の領地であった地も多く、四十七士のひとり・吉田忠左衛門が奉奉行として治めたことも。その縁から浅野家の祈願所となった寺院で、『忠臣蔵』の討ち入りから約150年後、四十七士の墓が建てられた。
 ☎0795-48-0995 (加東市観光協会)
 MAP P19B3
 ①加東市家原14-4 ②中国道滝野社ICから車で5分 ③④⑤境内自由 ⑥なし

毎年12月14日には法要を行う義士祭が催されます

四十七士の墓がある境内の菩提所へ

弘化4年(1847)に建立された菩提所は忠臣蔵ファンへの聖地。浅野氏4代、大石内蔵助・主税親子の墓碑を囲むように赤穂義士の墓がズラリと並ぶ。



四十七士全員の墓の場所を示す案内板も参考にお参りしよう

人気クリエイターが手がけたモニュメントもチェック!

こんなプランです
 『忠臣蔵』に登場する赤穂義士四十七士のお墓や、源義経・武蔵坊弁慶ゆかりの地を巡って加東市の歴史にふれるコース。ランチは地元で人気の本格ピッツァ店で、

2 シャレード ●しゃれーど

イタリア産食材にこだわった本格石窯ピッツァをリーズナブルに味わえる人気店。いちごのデザートピッツァ3300円といったデザート系も評判だ。
 ☎0795-47-1415 MAP P18E3
 ①加東市天神6-1 ②中国道ひょうご東条ICから車で8分 ③11時30分~20時(月曜(祝日の場合は月・火曜休)) ④14台



①異国感のあるおしゃれな建物
 ②家庭的な空間で家族連れも多い



東条川の畔で
本格ピッツァ
ランチ

唐揚げやエビフライなど定食メニューもあります!

ピッツァランチ1500円
 本日のピッツァ、マルゲリータ、マリナラから選ぶ一枚にサラダとドリンクが付く ※ランチメニューは平日のみ。売切れ次第終了

ゴール	16:30	14:45	13:30	12:00	11:10	11:00	スタート
中国道ひょうご東条IC	中国道ひょうご東条IC	4 播州清水寺	3 拵鹿寺	2 シャレード	1 観音寺	中国道滝野社IC	中国道滝野社IC
	15km 車で25分	13km 車で25分	1.3km 車で5分	11km 車で20分	2km 車で6分		



境内を通る「義経の道」へ
 三草山での戦いを終えた義経たちは、拵鹿寺で軍勢を整え一ノ谷を目指した。進軍のルートであったとされる通りは「義経道」とよばれている。
 義経道と大きく書かれた石が目印



3 拵鹿寺 ●はしかじ

聖徳太子が開創、奈良時代に行基が堂宇を建立したと伝わる寺院で、播磨西国三十三ヶ所観音霊場第22番札所。源平合戦「三草山の戦い」の後に、源義経が一ノ谷の平家を攻める経路を練った場所として知られる。
 ☎0795-47-0109 (大乗院)
 MAP P18E3
 ①加東市拵鹿谷692 ②中国道ひょうご東条ICから車で8分 ③④⑤境内自由 ⑥5台



源義経が
戦いに備えた地

①木々に囲まれ静かに佇む本堂

大講堂にある弁慶ゆかりの基盤

青年時代の弁慶がここを訪れ、住職と囲碁を打ったという言い伝えがあり、現存する基盤には、弁慶が負けたくやしきからねじ込んだという黒い基石が!
 大講堂内で常設展示中。怪力・弁慶の姿を思い描いてみて



①本物の蛇の抜け殻で作る金運御守各2000円。財布に入れて金運を呼び込む

武蔵坊弁慶の軌跡を残す名刹!

4 播州清水寺 ●ばんしゅうきよみずでら

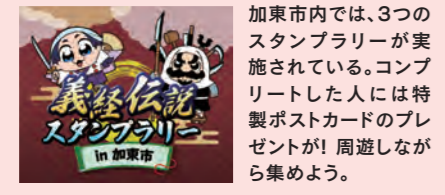
山頂に立ち、高低差のある広大な敷地には、推古天皇の勅願による根本中堂、聖武天皇の勅願による大講堂の2つの本堂が併存。ドッグランのあるユニークな寺院としても有名だ。
 ☎0795-45-0025 MAP P18F1-2
 ①加東市平木1194 ②中国道ひょうご東条ICから車で25分 ③拝観500円、高校生300円、中学生以下無料 ④8~17時 ⑤無休 ⑥350台

このQRコードを読み込むと、播州清水寺の360度動画が見られるよ!



TOPIC

スタンプラリーで加東市をもっと楽しく周遊



加東市内では、3つのスタンプラリーが実施されている。コンプリートした人には特製ポストカードのプレゼントが! 周遊しながら集めよう。

1 QRを読み取る
 スマートフォンのカメラで観光地にあるポスターのQRをスキャン!



2 スタンプゲット!
 QRを読み取るとスタンプが貯まる! スタンプはフォトフレームとしても使用できる。

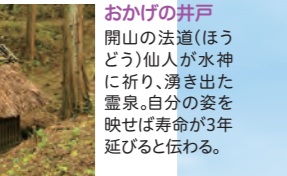


境内には
みどころがたくさん!

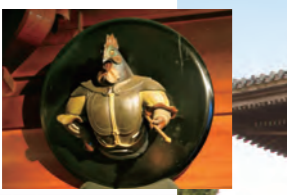
引退ポスト
 戦前から昭和30年(1955)まで現役だったポスト。四季折々の景色の中に佇む姿がフォトジェニックと話題に。



おかげの井戸
 開山の法道(ほうどう)仙人が水神に祈り、湧き出した霊泉。自分の姿を映せば寿命が3年延びると伝わる。



十二神将
 奈良の「せんとかん」の作者が制作した十二神将は自由に撮影OK。平清盛の義母・池禅尼が創建した薬師堂に安置。



みどころは広い境内に点在。じっくり見てまわると所要は90分ほどです。
 加東市観光ボランティアの会 黒崎輝美さん



ゴール
 中国道ひょうご東条IC